

日産 電子制御式ジーゼル車 自己診断コード表

コード番号	診断項目	異常(コード番号)を表示させる状態(異常検出条件)	エンジン警告灯への故障警報表示	点検部位
11	エンジン回転速度センサ (ポンプ取り付け側) 信号系統	・エンジン回転速度センサの異常, ハーネスの断線又は短絡を検出したとき	点滅	エンジン回転速度センサ(ポンプ取り付け側), ハーネス
12	エア・フロー・メータ 信号系統	・ホット・ワイヤが断線したとき ・エア・フロー・メータの電源, アース, 信号系統が断線又は短絡したとき	—	エア・フロー・メータ, ハーネス
13	水温センサ信号系統	・水温センサの信号系統に断線, 短絡又は機能不良が発生したとき	点滅	水温センサ, ハーネス
14	車速センサ信号系統	・車速センサの信号系統が断線又は短絡したとき	—	車速センサ, ハーネス
(15)	コントロール・スリーブ・ポジション・センサ信号系統	・コントロール・スリーブ・ポジション・センサの信号系統に断線又は短絡, その他異常値を検出したとき	点滅	コントロール・スリーブ・ポジション・センサ, ハーネス
17	ポンプ補正抵抗信号系統	・ポンプ補正抵抗系統が断線又は短絡したとき	—	ポンプ補正抵抗, ハーネス
(18)	燃料噴射量フィードバック系統2	・燃料噴射量フィードバック系に異常が生じたとき	点滅	インジェクション・ポンプ, ECCS C/U, C/U 電源(パワー系)ヒューズ, エレクトリック・ガバナ及びコントロール・スリーブ・ポジション・センサ・ハーネス
21	燃料噴射時期フィードバック系統	・燃料噴射時期フィードバック系に異常が生じたとき	—	ニードル・リフト・センサ付き噴射ノズル, ハーネス, タイミング・コントロール・バルブ, エンジン回転速度センサ(TDC 信号側)
(22)	燃料噴射量フィードバック系統	・燃料噴射量フィードバック系に異常が生じたとき	点滅	C/U 電源(パワー系)ヒューズ, エレクトリック・ガバナ及びコントロール・スリーブ・ポジション・センサ・ハーネス, インジェクション・ポンプ, ECCS C/U
23	アクセル・ペダル・スイッチ信号系統	・アクセル・ペダル・スイッチが短絡(導通)の状態が続いたとき	点滅	アクセル・ペダル SW, ハーネス
(25)	エレクトリック・ガバナ過大電流	・燃料噴射系ハーネスが短絡したとき	点滅	ハーネス, ECCS C/U

(27)	コントロール・ユニット1系統	・コントロール・ユニットに機能不良が発生したとき	点灯	ECCS C/U
28	オーバヒート	・水温が異常に上昇したとき	点滅	冷却水系統など
(31)	コントロール・ユニット2系統	・コントロール・ユニットに機能不良が発生したとき	点滅	ECCS C/U
34	ニードル・リフト・センサ信号系統	・ニードル・リフト・センサの信号系統が断線又は短絡したとき	—	ニードル・リフト・センサ付き噴射ノズル, ハーネス
36	フューエル・カット・ソレノイド・バルブ1信号系統	・フューエル・カット・ソレノイド・バルブに短絡又は機能不良が発生したとき	点滅	フューエル・カット・ソレノイド・バルブ, ハーネス
37	フューエル・カット・ソレノイド・バルブ2(過大電流)	・フューエル・カット・ソレノイド・バルブ・ハーネスが短絡したとき	点滅	C/U 電源(パワー系)ヒューズ, ハーネス
38	コントロール・ユニット3(フューエル・カット・ソレノイド・バルブ駆動)系統	・フューエル・カット・ソレノイド・バルブに断線又は回路機能不良が発生したとき	点滅	C/U 電源(パワー系)ヒューズ, ハーネス
42	燃温センサ信号系統	・燃温センサの信号系統が断線, 短絡又は機能不良が発生したとき	—	燃温センサ, ハーネス
43	アクセル・センサ信号系統	・アクセル・センサの信号系統に断線, 短絡又は機能不良が発生したとき	点滅	アクセル・センサ, アイドル SW, フル SW, アクセル・ペダル SW, ハーネス
47	エンジン回転速度センサ(TDC 信号側)系統	・エンジン回転速度センサの異常, ハーネスの断線又は短絡を検出したとき	点滅	エンジン回転速度センサ(TDC 信号側), ハーネス
48	コントロール・ユニット4(レボリューション・ユニット)系統	・アクセル・ペダル・スイッチの短絡, エンジン回転速度センサ又は ECCS C/U の機能不良が発生したとき	点滅	アクセル・ペダル SW, ハーネス, ECCS C/U, エンジン回転速度センサ(ポンプ取り付け側)
54	A/T 通信線系統	・A/T 通信線に異常が生じたとき	—	A/T 通信用ハーネス
55	異常なし	・上記信号系統に異常を検出しなかった場合	—	—

( )印のあるコード番号については、一度異常判定した後の再診断(再始動)はしない。(例えば、瞬断などで異常判定し、その後正常に戻っても異常判定したままとなる。)再診断させる場合は、キー・スイッチを OFF(4秒以上)し異常判定をキャンセルする。その後、異常がなければ再診断(再始動)が可能となる

### 自己診断結果の消去方法

モード2でのエンジン停止時(キー・スイッチ ON)に診断コネクタの CHK と IGN の端子を2秒以上ショートし、オープンにする。その後、キー・スイッチを4秒以上 OFF にすること。